



あきのブルーベリークラブ (宇陀市)



ブルーベリーで遊休農地を解消
クラブ員同士の輪を大切に！

6次産業化の取組に 至った経緯

奈良県宇陀市の旧大字陀町では、農業者の高齢化により遊休農地の増加が問題となっていました。そこで、高齢者にも栽培しやすい農作物の普及と地域特産物の創出を目指し、軽量で作業性のよいブルーベリーの導入を始め、平成10年に生産者組織である「あきのブルーベリークラブ」を結成しました。当初は、生食用ブルーベリーの販売のみでしたが、徐々に収穫量が増え始め、生食用で出荷できない果実の有効活用と有利販売のために、平成13年にクラブ員の女性6名で加工部を設立し、ブルーベリーを使った加工品の開発を始めました。現在、あきのブルーベリークラブの会員は14名(栽培面積:約1ha)で、化学合成農薬を使わずブルーベリーを栽培し、生果はJAや地域の直売所等に共同出荷しています。加工用果実は、クラブで買い取り、県内のケーキ店やパン屋等に出荷する他、大部分をクラブが所有する冷凍庫で保存して加工品製造の原料としています。毎年、約2tのブルーベリーを加工用果実として活用しています。

また、あきのブルーベリークラブでは、クラブ員の栽培技術向上のため剪定講習会や先進地視察等の開催、消費者を地域に呼び込むためのブルーベリー摘みとり園の開設なども行う他、子供たちに地域特産品を知ってもらうため地元の小学生を対象としたブルーベリー摘み取り体験なども行っています。

6次産業化の取組内容

現在、あきのブルーベリークラブ加工部はクラブ員の女性4人で活動しており、クラブ員が生産しているブルーベリーだけでなく、地域で栽培されているゆずも買い取り、ブルーベリーとゆずを使った加工品を製造しています。ジャム(ブルーベリー・ゆず)の他、食パン(ブルーベリー・ゆず)、カップケーキ(ブルーベリー・ゆず)、ブルーベリーコンポート、ブルーベリーQ(乾燥ブルーベリー)、ブルーベリー大福、ブルーベリーゼリー、ゆず茶など約10種類の加工品を商品化しています。また、地域の道の駅で販売しているブルーベリーソフトクリームの原料としてブルーベリーペース



あきのブルーベリークラブの商品

今後の事業展開

トも出荷しており、このソフトクリームはブルーベリーの爽やかな酸味と香りがする人気商品となっています。加工部で製造している商品の中で一番人気は、加工部を設立して最初に商品開発した「ブルーベリージャム」で、開発当初からの味を守り続けており、リピーターの多い商品となっています。また、新聞で紹介されたこともある「ブルーベリーQ」は保存料・添加物は一切使用せず、ブルーベリーをフリーズドライしたもので、そのまま食べてもよし、パンの生地につぶして混ぜてもよし、焼酎等に入れて紫色の色彩を楽しんでもよし、の商品となっています。

これらの商品を開発する際は加工部の女性だけでなくクラブの役員も一緒に、試作品を吟味の上、くり返し打ち合わせを行って販売するかどうかを決定しています。昨年度は、新商品として「ゆず茶」を売り出し、宇陀市のイベント等でも販売を行い、とても好評でした。



加工品製造の様子

取組の成果

製造した商品は、宇陀市内だけでなく、奈良市や橿原市等市外の直売所でも販売しています。県外の方へのPRとして、インターネット販売も行っており、宇陀市のふるさと納税の返礼品にもなっています。また、宇陀市では市内で生産・製造されている物品の中から、品質やデザイン等が優れており、安定的に生産され知名度のあるものなどの審査基準を満たすものを宇陀市名産品として認定しており、ジャムやブルーベリーQ、食パン等あきのブルーベリークラブが製造する加工品のほとんどが名産品として認定を受けています。

あきのブルーベリークラブは団体として男性、女性がともに力をあわせてブルーベリーの生産・加工をおこなっていることが評価され、平成22年度近畿農政局男女共同参画優良事例表彰の経営参画部門で優秀賞を受賞しています。

あきのブルーベリークラブでは、ブルーベリーの生果の販売だけでなく、加工品の製造・販売、道の駅への加工原料提供、摘み取り園の開設、積極的なイベント参加等行ってきました。そのかいあって、ブルーベリーは宇陀市大宇陀地区の特産品として浸透してきています。



たわわに実ったブルーベリー

宇陀市大宇陀地区は、飛鳥時代から「阿騎野」と呼ばれる宮廷の狩り場で、伊勢方面につづく旧街道で、古くは城下町として栄えてきた歴史のある地区です。また、又兵衛桜と呼ばれる垂れ桜もあり、多くの観光客が訪れるため、引き続き市内に「あきのブルーベリークラブ」手作り看板を設置し、直売所等でブルーベリーを使った様々な種類の加工品の販売を行うことにより、市外の方々にも特産品としてのブルーベリーをPRしていきたいと思ひます。あわせて、ブルーベリーを使った加工品は地域では定着してきているので、ゆずを使った加工品で定番商品になるような新商品を開発したいと思ひます。

クラブ設立から約20年がたち、クラブの会員は高齢化が進んでいるので、今後の後継者づくりが課題だと感じています。地域でクラブの活動について周知を図りつつ、これからも、クラブ員同士の輪を大切に、活動を続けていきたいです。



市内各所に看板を設置してPR

事業者概要

事業者名	あきのブルーベリークラブ
代表者名	松尾 明雄
住所	奈良県宇陀市大宇陀守道273
電話	0745-83-0318
F A X	0745-83-0318

